

# 漢方の臨床

## Journal of Kampo Medicine

Published by The Association of East-Asian Medicine

# 5

## 第70巻・第5号

## 2023

### 〔主な内容〕

〔口絵〕 目でみる漢方史料館(439) .....	小曾戸 洋	470
巻頭言 .....	栗山 一道	479
補中益気湯の構成生薬に関する一考察 .....	中江啓晴 他	481
釣藤鈎のセロトニン作用で生じた賦活症候群の1例 .....	藤原 二郎	487
新 女子医大雑話(13) .....	新 桂一 他	491
医師・薬剤師リレー治験録(214) .....	千田五月 他	503
東京医大漢方医学センターだより(24) .....	及川哲郎 他	509
飯塚病院 月曜カンファレンス 臨床経験報告会より <sup>136</sup> .....	中尾桂子 他	515
漢方牛歩録(411) .....	中村 謙介	524
東洋堂経験余話(359) .....	松本 一男	526
漢方研究室(61) 2023年3月号出題 第61問(再掲) .....	山崎 正寿	529
気・真気・正気・精気 ～気と東洋医学の基本概念に関する考察～ .....	鈴木 斉観	539
張仲景以前の中国医療(15) .....	真柳 誠	546
黄芩による肝障害・間質性肺炎について .....	宮澤 裕治	555
寺師陸宗先師と北里大学東洋医学総合研究所 ～漢方道を共に歩んだ50年 .....	小池 加能	557
新刊図書紹介 『天回医簡』上・下冊 .....	小曾戸 洋	564
公益財団法人武田科学振興財団杏雨書屋 第76回 特別展示会・第47回 研究講演会の報告 .....	編集局	566

## 巻頭言

### 博多でお待ちしております！

第73回日本東洋医学会学術総会会場 栗山 一道

この度、日本東洋医学会、第73回学術総会福岡の会場を務めさせて頂くことになりました。本年6月16日から18日の3日間、福岡国際会議場をメイン会場にWEBでの同時配信を実施する、いわゆる「ハイブリッド形式」で開催します。コロナ禍のお陰で10年は早くなったといわれる電子会議システム。とても便利で、遠隔、臨床、子育て、体調不良等々様々な理由で学会参加を断念していた方々には素晴らしいシステムが構築されたと思えます。実際いろいろな学会で参加者を増やしているようです。しかし、やはり「何か」足りない。何でしょう。やはり私達の世界の言葉で言えば「気」でしょうか。インターネットで「情報」は十二分に伝わりますが、その「情報」の後ろにある「何か」が足りない。上手く言えません、この「何か」がより学問を深化させたり、臨床の質を向上させたりするのだろーと思えます。そこで今回、COVID-19の脅威も減少しており会場での発表、

講演を実現したくハイブリッドとさせて頂きました。このような経緯で開催方法は決まりました。

次は、もつと大事な会の中身です。準備委員長の田原先生との話の中で、嬉しいことに何故かスムーズに方向性が決まりました。それは、従来の学術総会でよく採用されている一つのテーマを深く掘り下げて理解を深めたり、色々な意見のある事象を、すり合わせてコンセンサスを形成したりすることでは無く、2023年の日本で「漢方」という名の下に行われている様々な医療を集め紹介しようというものでした。様々な方法論となると、勢い優劣、甚だしい時は正誤論争に陥りがちですが、今回はそれを封印して頂き、それぞれが「わたしたちは、こんな風に医療をやってこんな風の結果を出している！」と威張ってもらう！ことをお願いしました。そこでテーマを決めるに当たり、準備委員で喧々諤々し、曰く「漢方万博」「漢方博覧会」「漢方マルシェ」等々多くの意見の中から、「あなたの漢方、わたしの漢方」と決め、副題として「オンリーとナンバー1」とさせて頂きました。東洋医学的漢方療法をされている先生にとっては目指す「オンリー」もあるでしょうし、西洋医学の土俵で頑張っておられる先生にとっては「ナンバー1」もあるでしょう。ペテランの先生には大いに語って頂き、中堅の先生にはご自身の診療の再確認と新たな道の模索、漢方を始めて聞

もない先生には進む指標を得て頂ければと考えています。いずれにしてもお帰り頂く時に「安心」を持って頂くことが目標です。何と言っても医師の安心無くして患者の安心は得られないでしょう。患者の病気に對する不安は必須ですが、治療は安心と共にありたいと思います。

会の構成は、従来のもと大差ありません。招待講演、教育講演、シンポジウム、一般演題に特別企画、そんなところですか。特筆すべきは24に上るシンポジウムの多さです。多くの診療科を網羅し、加えてこれまであまり語られることの無かった話題を提供しています。

内容に少し触れておきましょう。招待講演はジャバネットたかた創業者、高田明氏に一代で成し遂げられた経緯とそこにあるものを語って頂きます。作家であり、精神科医である常木蓬生先生にはギャブルと精神医学について舌鋒鋭い話を、作家であり文化人類学者である上橋菜穂子先生には、今医療界に最も求められているかも知れない「ナラティブ」という言葉で紡がれる世界を見せて頂けるかも知れません。太宰府天満宮の宮司である西高辻信宏氏には東洋医学にも通じると思われる、歴史の中にも新しい価値についてお話し頂きます。教育講演では「小児領域」、「医療ビッグデータ」、「痛み」、「補完・代替医療の倫理・哲学」、「漢方と蘭方」、「ヒト免疫系と生薬」という切り口で、その道の先駆者に存分に

語って頂きます。今回の大きな特徴である、24ものシンポジウムの詳細はホームページをご覧くださいのですが、必ずや皆さんの関心、興味、知的好奇心を満たすものがあると信じます。日頃あまり取り上げられない？ 取り上げ難い？ 話題、例えば「流派」の違いや、「薬が効く」という根本的な話題、「看護と漢方」等々があります。またプログラムにも工夫を凝らし、シンポジウムごとに各演者にお願ひしてミニサマリーを付けております。ご覧下さい。その他、避けては通れないCOVID-19の話題を学会特別企画として、また総会主導の特別企画として「あなたの漢方ベスト10」と銘打ち、多くの先生方がどのような処方を使っておられるか。準備委員長の田原先生の調査結果や、「明快回答！ 今さら聞けない生薬・漢方薬の疑問」と銘打ち、名古屋の牧野先生や生薬・漢方薬に造詣の深い北九州の久保山先生に答えて頂く会など、本当に盛り沢山であります。そしてもちろん、薬剤師の方々には日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師または漢方薬・生薬認定薬剤師研修単位が取得できるセッションがあります。

みなさん！ お待ちしております!! 博多でお会いしましょう。

(医師…〒840-0826 佐賀県佐賀市白山1-4-6

医療法人素心庵 栗山医院)

## 漢方研究室 (61)

出題 山崎 正寿

## 2023年3月号出題 第61問 (再掲)

## 左下顎痛

【症例】 女性、69歳

【主訴】 左下顎痛

【既往症】 特にないが、若い頃は着付家として多忙だった。出産2度。

【現病歴】 12年前、左下歯痛で歯科治療を受け、左下歯3本抜歯するも左下顎痛治らず。色々治療するも左下顎痛治らず。5年前、某総合病院で左三叉神経痛と診断され微小血管減圧術を受けたが痛み治らず。6年前、某大病院で

口腔顔面症と診断を受け不治といわれた。他院でトリプタノールなど内服薬投与を受けるも治らず。身体がしんどくて力が入らない。今は鎮痛薬も飲んでいない。睡眠薬を飲むと少し眠れて痛みを忘れる。冷えや風に当たっても痛みは増さない。40歳頃早く閉経、冷えのほせがあり、最近は上半身が熱く足冷える。汗は出ない。口内炎が出きやすい。午前は頑張れるが、夕方から横になりたい。夫(79歳)が認知症で世話がかかる。

某薬局にて清上瀉痛湯を投与され、痛み少しは良いが、続けていると左側頭痛が出て、舌が左に偏位するようになり、食欲も無くなってきた。

【現症】 身長162cm、体重55kg。血圧102/64(降圧剤服用)。

【漢方医学的所見】 舌証…やや青紫色舌質、薄白苔、やや乾燥、舌が左に偏位する。脈証…弦、やや大、力あり。腹証…全体に軟、腹力あり、左臍傍に軽度抵抗圧痛。

【治療と経過】 某湯投与。服薬3日目位から次第に疼痛軽減、舌の左偏位も無くなってきた。始めは清上瀉痛湯も併用していたが、次第に某湯のみになり左下顎痛もほぼ治っている。以後服薬継続しほぼ1年後服薬終了。

ちなみに清上瀉痛湯(寿世保元)は当帰、川芎、白芷、羌活、防風、蒼朮、麥門冬、黄芩、菊花、蔓荊子、細辛、甘草、生姜、独活 以上14味。

## 【問 題】

以上、この症例に用いた某湯とは何でしょう。

(出題者・漢方京口門診療所)

## 会員からの回答

### ① 豊島区・増山浩一 (医師)

清上瀉痛湯の加減ですね。「冷えや風に当たっても痛みは増さない」で陽証、脈・腹証は「力あり」で実証、左臍傍の軽度抵抗圧痛と青紫色舌質で瘀血、上熱下寒で便秘の記載なく、回答は桂枝茯苓丸を考えました。

清上瀉痛湯は、『寿世保元』に「一切の頭痛に頭痛を治す主方、左右偏正新久を問わず皆効あり」と龔廷賢が記している。矢数道明は薬能より「気の上衝を引き下げ、頭部の気血をめぐらし、表を発し、湿を除き、中を温め、内寒を散ず」(『臨床応用漢方処方解説』)として気血水の鬱滞と内熱を本方証としている。大塚敬節『漢方診療の実際』「森田幸門氏は頑固な三叉神経痛に用いて著効を得たとい、石原明氏は上顎洞の癌によるはげしい顔面痛に用いて鎮痛の効

を得たという、私は8年間止まなかった頑固な三叉神経痛にこの方を用いて7日目から忘れたように疼痛が去り、それきり治ってしまった例をもっている」(松田邦夫記載)。矢数道明は「左辺痛む者は、紅花2.0、柴胡3.0、竜胆2.0、地黄3.0を加う」とあるが、エキスでは無理? 「温知堂の頻用処方清上瀉痛湯」(矢数芳英)で、清上瀉痛湯の合方で多いのは五苓散料と桂枝茯苓丸と紹介されています。

〔答〕…桂枝茯苓丸

### ② 今治市・そろぎ (薬剤師)

まず虚実は、脈はやや大で力があり、腹力もあるので実証寄りです。六病位は弦脈、舌の薄白苔などより少陽病位と思われれます。本症例は、左下顎痛が難治であり清上瀉痛湯で痛みは少し改善したが、左側頭痛が出現し舌が左に偏位し食欲不振も現れたというものです。青紫の舌、上熱下寒の冷えのほせ、左臍傍圧痛など血虚、瘀血を示す所見がみられます。また、汗は出ないとのことでした。

今回は、実証、陽証、血虚や瘀血、脈大、神経痛、頭痛、舌の偏位などのキーワードから続命湯を選択させて頂きます。

〔答〕…続命湯

## ③ 北広島市・梅津 修 (医師)

脈力・腹力共にあることより実証→虚実中間証を考えます。冷えのぼせ・青紫色舌質・脈弦・左臍傍軽度抵抗圧痛より少陽病∨太陰病を考えます。瘀血を伴う持続性特発性顔面痛/口腔心身症/口腔不定愁訴/舌痛症の漢方治療として加味逍遙散・当帰芍薬散・桂枝茯苓丸などが用いられます。実証→虚実中間証・少陽病(太陰病)より、正解の製剤として桂枝茯苓丸が考えられます。無効だった清上蠲痛湯とは構成生薬が異なりますのでその意味でも投与したいと思います。

〔答〕…桂枝茯苓丸

## ④ 伊東市・檀 々 (医師)

左下顎痛・冷えのぼせ・左臍傍に抵抗圧痛から瘀血、早期の閉経・夕方から横になりたい・体がしんどく力が入らないから血虚、口内炎がでやすいから陰虛火旺であると考えた。清上蠲痛湯で血虚血熱は改善し、痛みは少し軽減したが、内服を続けると熱が取れすぎてしまい、寒による痛みと、瘀血による症状→不通則痛、則通不痛(左側頭部の痛み)が悪化した。舌の偏位も瘀血による神経麻痺と

考える。血虚と血熱が同時にある病態に対応する温清飲と瘀瘀血剤の標準的薬方桂枝茯苓丸を選んだ。

〔答〕…温清飲と桂枝茯苓丸

## ⑤ 札幌市・雲 雀 (医師)

まず陰陽は、冷えや風に当たっても痛みは増さないことから、附子を用いるような陰証ではないと考えました。次に虚実は、脈に力があり、また腹力もあり、実証と考えました。そして気血水は、冷えのぼせからは気逆が、横になりたいというところは少陰病の大綱のようですが、これは夕方からで午前は頑張れるというのは、気虚もしくは瘀血を示しているのでしょうか。舌が青紫色で、腹部では左臍傍の圧痛を認めることから、瘀血は認められると思われました。

ところで、私は清上蠲痛湯の使用経験はありませんが、これにより舌が左に偏移するようになったのは、不思議な気がしました。

さて、方剤ですが、とても難しかったのですが、桂枝茯苓丸(陽証、実証、瘀血、気逆)や、『明医指掌』の薏苡仁湯(陽証、気逆、痛み)などを鑑別に考えました。最終的に、薏苡仁湯を選択したいと考えます。

# 漢方関係学会・研究会予定 (6月)

これまで新型コロナウイルス感染症の影響下にありましたが、徐々に通常の開催に戻ってきました。この間習得したWeb開催のノウハウを活かしてハイブリッドでの開催が主流になっています。今回は、2023年6月に開催または中止の連絡を頂いた会のみ掲載しております。その他の会に關しましては事前に各連絡先または事務局にてご確認ください。

## ●京都漢方研究会第33期6月講座

日時 6月4日(日) 午前の部：午前9時50分(集合)～12時(解散)  
午後の部：午後1時20分(集合)～3時30分(解散)

会場 武田薬品京都薬用植物園  
内容 野外研修：植物園スタッフの案内による研修

事務局 松田久司 ☎080・6866・6932、090・96624・1669 075・762・5612 (細野医院内 松田宛)  
E-mail: matsuda\_131@outlook.jp

## ●日本東方医学会第17回中医学研修講座—臨床の部

日時 6月10日(土) 午後6時～8時

会場 WEBによるライブ配信  
内容 研修科目：皮膚・泌尿器科(菅沼栄)

共催 (株)ツムラ  
事務局 (一財)東方医療振興財団事務局 03・6264・3016  
E-mail: zaidan@jphoto.or.jp

## ●日中薬研究会関西支部6月例会研究会

日時 6月11日(日) 午前9時～午後2時

会場 Zoomによる例会  
内容 古典研究・傷寒金匱の流れについて、常用漢方処方解説・「柴

胡劑一について、皇漢医学・枳実梔子大黄豉湯、平成薬証論・黄柏・黄連・黄芩等 他 解説/田中英樹 他  
田中余以德齊薬局・三重県名張市榑町14011  
☎0595・63・0238 0595・63・0268

## ●第67回広島漢方研究会月例会

日時 6月11日(日) 午前9時半～午後12時半

会場 広島県薬剤師会館2F・ふたばホール(広島市東区二葉の里)  
内容 漢方処方植物から花活始めませんか? (森本泰司、水島美代子、清水枝里)、ストレスと柴胡劑(鉄村努)

主催 広島漢方交流会  
共催 一般社団法人日本生薬学会

連絡先 鉄村 ☎082・232・7756 info@teisumura.jp

## ●第29回東京漢方教育研究センター6月講座

・研修認定薬剤師制度認定対象集合研修会

日時 6月11日(日) 午前10時半～午後4時55分  
・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(3単位)

会場 会場受講(先着30名まで)、Zoomによるオンライン受講(人数制限なし)のハイブリッド形式で実施。ホームページのGoogleフォームよりお申込み下さい。(申込みなしの当日参加不可)

内容 早稲田大学国際会議場第1会議室(新宿区西早稲田1-20-14)  
漢方の初歩～肺の病と方劑(石毛敦)、症例報告と解説(松井りか、飛奈光重)、処方解説・養陰清肺湯(布山満)、康治

本傷寒論解説・傷寒論81(中川智代)、臨床他：喘息・咳喘息(吉本悟)

連絡先 二宮理摩 ☎090・4392・7129  
E-mail: tokyokanpou@yahoo.co.jp

## ●第50期東海漢方入門講座6月講座

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(3単位)

日時 6月11日(日) 午前10時半～午後4時15分

会場 名古屋市立大学 田辺通りキャンパス

内容 誰にも分かる漢方基礎…気血津液(林誠一)、発熱について…傷寒論条文を現代生理で解釈(三品尚弘)、生薬解説…芍薬(箕輪眺美)

事務局

東海漢方協議会事務局・大見生薬(有)内(名古屋市中種区)  
☎052・7222・2205 東海漢方協議会HP「お問い合わせフォーム」より

●日本臨床漢方医学会WEB開催全8回シリーズ・第1回

日時 6月13日(火) 午後7時～7時半の2部制

※講義10分・質疑10分。講義内容は同一です。

会場 Zoom受講、参加予約: <https://kampo-ika.jp/news/20230425>

内容 漢方の考え方が10分でわかるシリーズ第1回「気の異常①—1

気虚(食欲不振) (堀場裕子)

共催 日本臨床漢方医学会・(株)ツムラ

問合せ (株)ツムラ 東京支店病専第1営業所 榎原慎

Email: sakakihara\_makoto@mail.tsumura.co.jp

●日本臨床漢方医学会講演会

日時 6月17日(土) 午後4時～5時

会場 第73回日本東洋医学会学術総会会場(福岡国際会議場)第7会場

内容 「頑固な腹痛、便秘と難治性下痢について」(織部和宏)

共催 日本臨床漢方医学会

問合せ 日本臨床漢方医学会事務局

Email: jim@kampo-ika.jp

●日本漢方協会漢方総合講座(第33回) 6月講座

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(3単位)

日時 6月18日(日) 午前10時～午後4時10分

会場 全水道会館4階(文京区本郷1-4-1)

内容 漢方の基礎理論…漢方の考え方(高山留美)、生薬解説…麻

黄(河合元宏)、漢方の古典・歴史…漢文の読み方(小根山

隆祥)、漢方トピックス…本草考証学のすすめ(御影雅幸)

事務局 一般社団法人日本漢方協会・墨田区両国2-17-19 PAZ 両

国6階 ☎/FAX 03・6659・9980 平日(月～木)

午前10時～午後4時迄 Email: jkampo@jeans.ocn.ne.jp

●第39回泌尿器科漢方研究会特別企画

日時 6月23日(金) 午後5時～7時

会場 沖縄県市町村自治会館(沖縄県那覇市旭町)

内容 泌尿器科医のための漢方ハンズオンセミナー2023

株式会社コングレ九州支社内 担当・福田

☎092・718・3531 FAX 092・716・7143

Email: hinyouki-kampo2023@congre.co.jp

●第39回泌尿器科漢方研究会学術集

日時 6月24日(土) 午前9時～午後3時

会場 沖縄県市町村自治会館(沖縄県那覇市旭町)、ハイブリッド開催

会長 斎藤誠一(琉球大学)

内容 テーマ「使ってみよう漢方薬」

特別講演 「LOH症候群にも使ってみよう漢方薬

〈新しいLOH症候群診療の手引きを紐解く〉」

ワークショップ テーマ「LOH症候群に使ってみよう漢方薬」

座長・天野俊康(長野赤十字病院)、井手久満(順天堂大学)

1 身体症状を主症状とする患者さんに役立つ漢方薬とは?

2 精神症状を主症状とする患者さんに役立つ漢方薬とは?

3 性機能症状を主症状とする患者さんに役立つ漢方薬とは?

4 LOH症候群に関連している周辺症状に役立つ漢方薬とは?

一般講演28題、優秀演題賞ノミネート講演6題

事務局 株式会社コングレ九州支社内 担当・福田

☎092・718・3531 FAX 092・716・7143

●温知会月例会6月講義(第63回)

Email: hinyouki-kampo2023@congre.co.jp

日時 6月24日(土)午後6時〜8時

会場 湯島聖堂・斯文会館(文京区湯島1-4、お茶の水駅至近)  
内容 生薬・補気薬・大棗、膠飴、党参(小根山隆祥)、症例検討(班目有加)、翻刻宋版傷寒論不可不篇(音読)・95〜106条(安田卓史)、自由演題(横山浩一)

問合せ ホームページの「お問い合わせフォーム」にて連絡

●福岡医師漢方研究会6月例会

日時 6月24日(土)午後6時30分〜8時30分

会場 福岡朝日ビル地下1階WEBと直接参加のハイブリッド開催  
内容 基礎講座・浮腫(兵頭)、講演会・漢方外来入門(梁哲成)共催 クラシエ

問合せ 竹山ファーマリーククリニック/竹山泰雄  
TEL 092・558・2152 FAX 092・558・2153

Email: tf@takeyama-clinic.com

●九州漢方研究会令和5年6月オンライン講義

日時 6月25日(日)午後1時〜4時

会場 WEB配信と会場での開催(会場は事務局に確認)  
内容 東洋医学会発表報告(久保山慎一)、金置要略(山田宗良)、中医学解説(甄立学)、傷寒論雑病論(甄立学)

事務局 斉藤容子(招き猫調剤薬局) 福岡市中央区舞鶴1-8-11  
TEL 070・8372・6637 FAX 092・406・4062

Email: kyusuyukampo@gmail.com

●柿田塾5月度定例会

「5月の柿田塾定例会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止と致します」

連絡先 おのころ治療院内柿田塾・兵庫県淡路市志筑113816  
TEL 0799・62・0990

注意:各会の参加要件・参加費用等は個々に異なりますので必ず事前にご確認下さい。(以上 敬称略)

研究会等の予定を編集局までお知らせください。原則として、本誌発行月の翌月の予定掲載。締切り毎月5日必着。ただし、誌面の都合でやむを得ず不掲載の場合もあることをご承知おき下さい。

第73回 日本東洋医学会学術総会 主要プログラム

会期 6月16日(金)〜18日(日)

会場 福岡国際会議場(福岡県福岡市博多区石城町2-1)

ハイブリッド形式(現地+ライブ配信)、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師または漢方薬・生薬認定薬剤師研修単位の取得が可能です。

会頭 栗山一道(医療法人素心庵 栗山医院 院長)  
名誉会頭 織部和宏(医療法人 織部内科クリニック 院長)  
テーマ 「あなたの漢方 わたしの漢方」オンライン1とナンバー1」  
内容

会頭講演 「医のバトン(先達と後進の狭間で繋ぐものと繋がないもの)」  
医療法人素心庵 栗山医院 栗山 一道  
名誉会頭講演 「日々の臨床における傷寒論医学の応用」  
医療法人 織部内科クリニック 織部 和宏

# 第33回 漢方治療研究会 演題募集

**開催日** : 2023年10月1日(日) 9:30~16:00 (予定)  
**会場** : サンシップ富山1階 福祉ホール(ハイブリッド形式)  
**会頭** : 貝沼茂三郎 (富山大学医学部和漢診療学講座教授)  
**参加方法** : web 申し込み 後日告知予定  
**テーマ** : 「漢方医学の新しい時代を創る」  
**参加費** : 一般 6,000 円、学生 1,000 円

## 演題申込方法 :

- ① 所定事項(演題、住所、氏名、所属、連絡先電話・FAX番号、メールアドレス)を記入の上、講演抄録を添えて実行委員会へ郵送もしくはメールして下さい。
- ② 抄録は 1,000 字前後です。抄録様式は原則として、緒言、方法、結果または症例提示、考察、総括として下さい。

**講演形式** : 約 12 分(口演7分、討論5分。演題数によって変更あり)を予定。  
(現地での発表を予定しています)

**採否** : 実行委員会

**特に若い先生方からの演題を募集しています！！**

**締切日** : 7月7日(金曜日) 必着  
**送付先** : 富山大学医学部和漢診療学講座  
〒930-0194 富山県富山市杉谷 2630  
電話: 076-434-7393 FAX076-434-0366  
E-mail: wakann@med.u-toyama.ac.jp

■主催 東亜医学協会  
富山大学医学部和漢診療学講座

■後援 一般社団法人日本東洋医学会  
公益財団法人日本薬剤師研修センター(予定)